

特別企画

日本の心理学 これまでとこれから

1927年に創立した日本心理学会は、今年で83年目になります。日本心理学会の機関誌である『心理学研究』は昨年度、80巻目を発行しました。*Japanese Psychological Research*は一昨年度、50巻目を発行しました。そして『心理学ワールド』は、前号でちょうど50号目となりました。ご覧のように、日本心理学会が発行する機関誌や雑誌が、昨今なんらかの節目を迎えているという喜ばしい現状があります。

そこでこれを機に、今号では、これまでの日本の心理学を振り返り、また今後どのような方向に進んでゆくのかを各領域を代表する研究者の先生方に語っていただこうと考え、特別企画を立案しました。ご執筆を一方的にご依頼申し上げたにもかかわらず、ご快諾をいただいた8名の先生方には、心より御礼申し上げます。漠とした企画趣旨であったにもかかわらず、ご執筆いただいた内容は個性に溢れ、示唆に富むものでした。読者の皆様方にもぜひご一読いただき、心理学のこれからについて皆さんであれこれ考えてみようではありませんか。

(宮本聡介)